

# 1. 徳島県美馬市事業概要

参考市町村名	徳島県美馬市
社会的課題 及び背景	<p>美馬市では「美と健康」のまちづくりを推進している。また、高齢化の進行に伴って増加する医療費・介護給付費の適正化が課題となっている。</p> <p>一方で、徳島ヴォルティスは、従来から運動習慣の定着を目的とするスポーツ教室などの地域貢献を行ってきたが、あくまでボランティアであるため本業（サッカーの試合や練習等）と比べて優先順位は低く、結果的に十分な人的・経済的資源をかけることができず、そのために地域に明確な成果が出ていないという問題意識があった。地域に根付くクラブチームとして、地域に成果が生まれる規模で地域貢献を実施したいという思いがあり、そのためには地域貢献であっても責任ある形で事業を実施することで費用を賄うためのビジネスモデルが必要であった。</p>
事業名	美馬市版SIBコルティスコンディショニングプログラム
事業概要	ホームタウンである美馬市の「美と健康」のまちづくりを推進し、運動習慣の定着と将来的な医療・介護給付費の適正化を目指して、徳島ヴォルティスを含む複数のサービス提供者が連携して開発したヴォルティスコンディショニングプログラムを市民に提供。
サービス内容	<p>プログラム参加者は1クール100人とし、クールごとに8週間のプログラムを提供する。プログラムは年間4クール（初年度及び最終年度は3クール）実施する。</p> <p>プログラムは徳島ヴォルティスのコーチが提供する。</p> <p>まず、参加者の健康状態等に関する事前アンケート、姿勢の撮影や身体機能をチェックする。次に、集合トレーニング（ヨガマットを活用した軽微な運動を週1回）、ボディメンテゼリー摂取（週2回）、ICTデバイスによる活動量データレコード（週1回チェック）等から構成されるメニューを合計9回提供する。最後に、姿勢の撮影や身体機能を再度チェックする。その後約3週間後に、事後アンケートを実施する。</p>

# 1. 奈良県奈良市事業概要

事業期間	検討期間	平成30年7月～平成31年3月まで
	開始年度	令和元年度
	事業期間	平成31年4月～令和6年3月まで（5年間）
	サービス提供期間	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和元年度：令和元年7月～令和2年3月</li><li>・令和2年度：令和2年4月～令和3年2月</li><li>・令和3年度：令和3年4月～令和4年2月</li><li>・令和4年度：令和4年4月～令和5年2月</li><li>・令和5年度：令和5年4月～令和5年11月</li></ul>
契約金額	総額	38,400千円（初年度は別途契約有）
	最低支払額	35,400千円
	成果連動支払額	3,000千円（年間600千円）
支払条件	中間評価による支払い	あり 以下のとおり中間評価を実施する。 <ul style="list-style-type: none"><li>・令和元年度：令和元年9月、12月、令和2年3月</li><li>・令和2年度：令和2年6月、9月、12月、令和3年3月</li><li>・令和3年度：令和3年6月、9月、12月、令和4年3月</li><li>・令和4年度：令和4年6月、9月、12月、令和5年3月</li><li>・令和5年度：令和5年6月、9月、12月</li></ul>
	成果支払	成果支払額は以下3点より決定される。 <ul style="list-style-type: none"><li>・プログラム参加者数</li><li>・運動習慣の改善度</li><li>・基本チェックリストの改善度（65歳以上のみ対象）</li></ul>

## 2. 事業組成の流れ

### 対象テーマの設定

- 徳島ヴォルティスは徳島県内の市町村を活動拠点とする四国初の J リーグチームである。発足時から、地域貢献とサポーター拡充を目的として、子供から高齢者まで幅広い世代に対してスポーツ教室等を展開している。
- 徳島ヴォルティスの取組はあくまでボランティア活動であるため優先順位は低く、地域に明確な成果が出ていないという問題意識があった。
- 子供や高齢者等幅広い世代が参加する為に、徳島ヴォルティスのスポンサーである大塚製薬は、地方公共団体にとってメリットがある成果を創出し、それに応じた支払いを得ることができるSIBであれば、収益事業化の可能性があると考え、検討を開始した。
- 福島ヴォルティスのホームタウンであり、「美と健康」のまちづくりを推進する美馬市が強い関心を示した。
- 大塚製薬と美馬市は「美と健康」のまちづくりを推進するための連携協定を締結し、その一環として本SIB事業を行うこととした。

### 可能性調査

- 福島ヴォルティスが地域貢献として幅広い世代にかかわり、現在医療や介護支援を受けていない人の健康を維持することを目的とした。これに基づき、大塚製薬及び徳島ヴォルティスが主導し、複数の事業者と連携してサービス内容の詳細を検討した。
- 平成30年度経済産業省健康寿命延伸産業創出推進事業が提供するSIB事業の個別支援として派遣された日本総合研究所を中間支援組織とし、日本総合研究所が中立的な立場で成果指標や支払条件等の設定、行政コスト削減額の試算を支援した。
- 徳島ヴォルティスは大塚製薬とともに地元の金融機関から資金調達者の探索を行い阿波銀行からの資金調達を実現した。成果連動支払いリスクは阿波銀行が負うが、徳島県信用保証協会の保証を付保しているため、仮に成果連動支払いがない場合は、徳島県信用保証協会が徳島ヴォルティスによる阿波銀久尾に対する返済の一部を負う。

### 予算化

- 美馬市において本SIB事業を実施する費用を算定し、それを踏まえて予算額を設定した。
- 美馬市庁内では、本SIB事業に対して徳島ヴォルティスの活動により地域住民の健康増進がさらに期待できる点を評価し、新規事業であるものの大きな異論なく庁内合意を得て予算を確保することができた。

### 公募資料作成

- 受託者の選定においては、立ち上げ期の段階から、美馬市は地元の事業者として徳島ヴォルティスが本SIB事業を行うことを前提としていたため、公募による選定は行われなかった。

### 事業実施

- 徳島ヴォルティスが中心となり、おおつかせいや、R-body Project、谷田ヘルスリンクと協議しながら、プログラムを開発した。
- サービスは初年度および最終年度はそれぞれ3クール実施し、2～4年目は毎年4クール実施する。
- 評価は、書くクール終了後に美馬市が行う。
- 支払条件の確定と最低支払額及び成果連動支払は年度ごとに行う。

